

教 育 研 究 業 績 書

2025年5月1日

氏名 久保 知里

研 究 分 野		研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド	
歴史学（日本近世史、地域史）		地域史、ライフサイクル、ジェンダー、武士のネットワーク形成	
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項			
事項		年月日	概 要
1 教育方法の実践例			
2 作成した教科書，教材			
3 教育上の能力に関する大学等の評価			
4 実務の経験を有する者についての特記事項			
5 その他			
職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項			
事項		年月日	概 要
1 資格，免許 中学校教諭専修免許（社会） 高等学校教諭専修免許（地理歴史） 高等学校教諭第一種免許（公民） 学芸員資格 アーカイブズカレッジ（短期コース）課程修了		2008年3月 2008年4月 2008年5月 2011年3月 平成27年2月	平19中専修第0035号 平19高専修第0065号 平19高一種第0647号 人間文化研究機構国文学研究資料館主催アーカイブズカレッジ（史料管理学研修会）短期コースにて所定の課程を修了し、記録資料に関する知識・技能を習得。
2 特許等 特になし			
3 実務の経験を有する者についての特記事項 福岡市史編集委員会調査補助員 福岡市史編集委員会調査委員 臼杵藩政史料調査事業 古文書調査補助員 科学研究費助成事業 基盤研究（C）		2007年4月－ 2008年4月 2008年4月－現在に至る 2010年4月－ 2014年3月 2016年度-2019年度	『新修福岡市史』の編さん事業に係わる資（史）料調査・収集等を担当。 『新修福岡市史』の編さん事業に係わる資（史）料調査・収集および資料（古文書）筆耕、原稿の執筆、校訂、校正等を担当。 『新修福岡市史 資料編近世1領主と藩政』（福岡市、2011年）の史料の収集、翻刻、校訂、校正等を担当。総頁数995頁。 『新修福岡市史 資料編近世2家臣とくらし』（福岡市、2014年）の史料の収集、翻刻、校訂、校正等を担当。総頁数1078頁。 臼杵藩政資料、主に古文書の史料調査を担当。 短大生の体験的レディネス・アウトカムの特性とその関係性に関する研究 研究代表者：藪敏晴 研究分担者：安部恵美子、長澤雅治、竹中真司、中濱雄一郎、鹿毛理恵、久保知里 配分金：4,550千円

文部科学省 私立大学研究ブランディング事業		2017年度-2019年度	短期大学におけるダブルディグリープログラムを推進する韓日語併記学習教材の開発と韓国文化研究拠点の構築 上記事業の申請を行い、事業主担当となった「現代韓国文化研究センター」の兼任研究員。	
嬉野市史編集委員会専門部会専門員（執筆）		2019年9月-現在に至る	嬉野市史編さんのための歴史史料調査および執筆。	
松平文庫・島原城保管文書資料調査委員		2020年9月-2023年9月	肥前松平文庫等の古文書を中心とした資料調査を実施。報告書（目録）2冊を発行。	
佐賀市まち・ひと・しごと創生推進会議委員		2022年3月～現在に至る	佐賀市の人口減少の克服と地域経済の活性化を目指すための会議委員	
4 その他				
研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
（著書） 1. 新修福岡市史 特別編 福岡城-築城から現代まで-	共著	2013年3月	福岡市	学術書。福岡城の築城から現代にいたるまでの城郭の状態や使用状況の変遷を古文書、絵図、写真史料から明らかにしている。V-2近代における三の丸東部の使用状況「日露戦争」「俘虜収容所」「第三五旅団司令部の設置」「連隊区司令部」「歩兵第二四連隊の満州移転と諸部隊の編成」の執筆（pp. 181-183, 186）を担当。 （著者名）柴多一雄、久保知里、他18名。総頁数335頁
2. 短期大学教育の新たな地平	共著	2018年6月	北樹出版	学術書。短期大学教育の特徴や課題、これまでの僅少な研究成果から、北部九州の短大連合における教育、研究実践をまとめる。組織結成の経緯執筆（pp. 81-87）を担当。 （著者名）安部恵美子、久保知里、他11名。総頁数217頁。
（学術論文） 1. 婚姻関係にみる近世－福岡藩を事例として－	単著	2008年3月	修士論文	近世福岡藩における婚姻の事例を婚姻成立や離縁さらに心中事件などの男女関係を中心にして研究した。福岡藩における婚姻の状況はこれまでにまとまった研究がなく、この修士論文によって事例をもとに明らかにした。
2. 藩士たちの婚姻-近世後期福岡藩を事例として-（査読付）	共著	2009年3月	七隈史学第11号:67-81	福岡藩下級藩士の日記から婚姻の事例を収集し、福岡藩における藩士たちの婚姻がどのような過程を経て結ばれたのかを明らかにした。従来、はっきりとした定義はなかった婚姻成立時点を提示した。
3. 近世後期福岡藩における御書物預りと書物管理	共著	2010年12月	福岡大学大学院論集第42巻第2号:192-220	福岡藩の御書物の「御書物」の管理、管理する役職について明らかにした。加えて「御書物」目録の史料を掲載し、藩の収集・所有した書物を明らかにした。
4. 日露戦争と福岡俘虜収容所（査読付）	共著	2016年12月	九州歴史科学第44号:1-38	日露戦争時における福岡俘虜（捕虜）収容所について、『福岡日日新聞』を主史料として明らかにした。従来福岡では判然としなかった収容所について、新聞を詳細に分析し、収容所の概要と市民の俘虜に対するまなざし等を提示した。
5. 조선통신사에 대한 후쿠오카 번의대응(査読付) （朝鮮通信使への福岡藩の対応）	共著	2018年7月	국제어문 77집:81-112 （国際語文学）	正徳期に來航した朝鮮通信使の接待記録「官人來朝覚書」という福岡藩の庄屋が残した資料をもとに、通信使が逗留した藍島での様子などを考察した。韓国で発行された国際学会誌のため、標記は韓国語及び日
（その他・研究ノート報告書等）				

1. 観光地化された台湾	共著	2010年2月	福岡大学研究部論集 A：人文科学9巻8 号：22-25	「グローバル化の中の『地域』に関する基礎的研究」（福岡大学平成19～20年度総合科学研究部Ⅱ研究チーム／研究代表者：松塚俊三）のなかで、台湾へのフィールドワークを実施し、日本人の移住した炭鉱町などの調査をもとにした報告書。
2. 現代語訳徳川実紀 家康公伝 3 逸話編	共著	2011年6月	吉川弘文館	「徳川実紀家康公伝」の付録巻1～8の現代語訳。加えて用語一覧（人名、地名、引用書目を付記した。巻3～8（pp. 50-250）の現代語訳および、注釈を担当。 （編者）大石学、佐藤宏之、小宮山敏和、野口朋隆。（著者）大石学、野口朋隆、藤井祐介、守友隆、久保知里。総頁数257頁。
3. 近世福岡における書籍文	共著	2012年2月	福岡大学研究部論集 A：人文科学編11巻5 号：51-57	近世福岡藩における書籍の取り扱いについて論じた。藩の所有する書物の管理・保管に加え、藩内の神社などが所有蔵書とその貸し出し状況などを示した。「近代地域社会史研究」（福岡大学平成21～22年度領域別研究チーム（重点化）／研究代表者：松作家・森崎和江氏に対して、歴史学・人類学の研究者が質問を投げかける形式のシンポジウム記録。 （著者名）森崎和江、松塚俊三、広瀬貞三、久保知里、宮本なつき。
4. シンポジウムの記録 「作家・森崎和江さんと語る 闇は続いているのか—朝鮮・炭鉱・女性・棄民—」	共著	2012年12月	九州歴史科学第40号：4-32	第53回日本母性衛生学会学術シンポジウム「別の時代・別の地域・別の「母性」—歴史学・人類学から見た「母性」—」にての発表を元に、日本近世における「母性」について論じた。
5. 日本近世における親と子の関係	共著	2013年4月	母性衛生第54巻1号：30-35	日本におけるアクティブラーニングの導入に関する歴史的経緯を踏まえ、現在推進されるに至った状況を整理した。その上で教育再生実行会議提言を読み解き、文部科学省が推進するアクティブラーニングについて短大連携によるキャリア教育プログラムとして「短大フェス」を実施。学生へのアンケート調査からある程度の有効性と有用性が確認された。「短大フェスの運営体制の展望」（p50）について担当。 （著者名）武藤玲路、桑原哲章、久保知里。
6. アクティブラーニング導入と推進の経緯（査読付）	共著	2016年3月	短期大学コンソーシアム九州紀要「短期高等教育」vol. 6：59-64	
7. 短大フェスの成果検証	共著	2019年3月	短期大学コンソーシアム九州紀要「短期高等教育」vol. 9：43-54	
8. 福岡藩無足組菅家とその史料について	共著	2020年3月	佐賀女子短期大学研究紀要第54集：127-136	福岡藩無足組菅家の由緒と藩での役割の整理。また菅家に伝来する資料について明らかにしている。
9. 島原における教育について	共著	2024年3月	肥前島原松平文庫所蔵資料目録（2）：35-37	
10. 新しい時代の教員研修の高度化に資するモデル開発に関する佐賀女子短期大学からの意思私案についての覚書	共著	2024年3月	佐賀女子短期大学研究紀要第58集第2号：121-134	（著者名）水田茂久、久保知里、佐貫巧
（その他・学会発表等）				

1. 婚姻関係にみる近世	—	2008年4月	九州史学研究会近世史部会 @九州大学	福岡藩を題材に婚姻の事例を収集し、武家における婚姻成立の経緯を提示した。加えて離縁・再縁の事例について心中事件などを交えて明かにし、婚姻関係を軸にした男女の関係性について論じた。
2. 藩士たちの婚姻—近世後期福岡藩を事例として—	—	2008年9月	七隈史学会第10回大会 @福岡大学	福岡藩下級藩士の日記から婚姻の事例を収集し、近世後期福岡藩における藩士たちの婚姻がどのような過程を経て結ばれたのかを明らかにした。
3. 「日本近世」におけるジェンダーの可能性	—	2010年7月	第49回近世史サマーセミナー分科会 @山梨県	ジェンダーという概念を日本近世に導入し、分析を進めることによって明らかになってきたことをまとめた。しかし、女性史をそのままジェンダー史と置き換えているだけで、ジェンダー概念が有効に活用できていない現状もあることを提示した。
4. シンポジウム「作家・森崎和江さんと語る」	—	2012年6月	九州歴史科学研究会例会 @福岡大学	作家・森崎和江氏に対して、歴史学・人類学の研究者が質問を投げかける形式のシンポジウムのパネリストとして登壇した。「若手女性」研究者の視点から質問・議論を行った。 (パネリスト／コーディネーター)
5. 幕末福岡藩の下級武士と情報	—	2012年9月	七隈史学会第13回大会 @福岡大学	森崎和江、松塚俊三、広瀬貞三、久保知里 幕末の動乱期に、各種運動にも参加せず「普通」に過ごしていた武士たちの得た情報とはどんなものであり、彼らがその情報をどこから得ていたのか、彼らの興味関心は何であったのか等を、福岡藩士の日記を
6. 幕末福岡藩の下級武士と情報—収集情報にみる関心事—	—	2012年11月	九州歴史科学研究会例会 @西南学院大学	幕末の動乱期に、各種運動にも参加せず「普通」に過ごしていた武士たちの得た情報のうち、特に海外と関わる情報について検討した。なかでも生麦事件に関する情報は、すぐに福岡まで伝わっており、運動にかかわらずとも情報に敏感に反応している
7. シンポジウム「別の時代・別の地域・別の「母性」—歴史学・人類学から見た「母性」	—	2012年11月	第53回日本母性衛生学会学術シンポジウム @アクロス福岡	それぞれの研究分野から「母性」について論じた。対象は助産師をはじめとした産科関係者であり、現状との違いを軸に発表・議論した。 (パネリスト／コーディネーター)
8. 近世後期～明治初年における福岡藩無足組菅家の動向	—	2015年9月	地域史料研究会・福岡第20回懇話会 @久留米大学福岡サテライト	長谷川まゆ帆、宮崎聖子、久保知里／星乃 福岡藩無足組菅家の系譜と近世後期から明治初年の同家の動向について明らかにした。福岡藩の下級家臣が時代の転換する混乱にどのように巻き込まれていったのかの事例を提示した。
9. 朝鮮通信使への福岡藩の対応	—	2018年1月	国際語文学会 佐賀大会 @佐賀女子短期大学	正徳期に来航した朝鮮通信使の接待記録「官人来朝覚書」という福岡藩の庄屋が残した資料をもとに、通信使が逗留した藍島での様子などを考察した。
10. 近世後期～明治初年における下級藩士の動向	—	2019年9月	七隈史学会第21回大会 @福岡大学	福岡藩の下級藩士の日記を用いて、菅家の動向や地域社会との関わりについて、さらに明治初年における菅家の動向と福岡藩士たちの動きから、従来明らかとなっていない、福岡藩政の可能性について言及した。

(注)

- 1 この書類は、学長（高等専門学校にあっては校長）及び基幹教員（大学院にあっては専任教員）について作成すること。
- 2 医科大学又は医学若しくは歯学に関する学部若しくは学部の学科の設置の認可を受けようとする場合、附属病院の長についてもこの書類を作成すること。
- 3 「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表のものを記入しないこと。